

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができている。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることに課題がある。

【算 数】

- 台形の意味や性質、角の大きさについて理解している。
- 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。

【理 科】

- 粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果をもとに結論を導いた理由を表現することができている。
- 身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いていない。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 「自分には、よいところがある」の問いに、「ある」と答えた児童数が大変多く、自分のよさに気づき、自信をもって取り組もうとする力が身に付いている。
- 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」の問いに「当てはまる」と答えた児童数が大変多く、仲間と協力して課題を解決するよさを感じている。
- 授業中においてタブレットを活用し、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることに課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 日常的に自分の考えを書く活動を取り入れた授業改善とノート指導の全校による推進
- ・ 算数科の重点単元における少人数指導や専科指導の実施
- ・ 国語科、算数科で定着が不十分だった児童に対する個別の課題に応じた指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 国語科では、文章と図表を結び付けながら、正しく読み取れるような説明文の読みの指導
- ・ 算数科では、「〇〇のいくつ分」のような「単位」に着目した意味理解ができる各学年での指導
- ・ 理科では、身近なものと結び付けながらの予想と結果、考察ができるような授業づくりの推進
- ・ すくすくタイム（個別支援学習）の課題の内容の見直し、更なる個別化の指導の推進
- ・ ICTを活用して、自分の考えや意見を伝えることを取り入れた授業づくりの推進
- ・ 全校でのグッジョブプロジェクト（自分の考えを書いて説明する力を高める取組）の推進

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 全職員での児童の努力や成果を具体的に褒めて自己肯定感を高める支援的な環境づくり
- ・ 全校でのグッジョブプロジェクトの取組（ノート名人の掲示、放送等）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 計算の反復練習や漢字練習として、ミライシードを活用した個別最適な復習の充実
- ・ 授業において、タブレットを活用した表現や発表できる場の設定